



高校生たちと考える国際理解講座

## 新型コロナと学校 ～9月入学問題も一緒に考えよう!～

ゲストスピーカー：前川喜平（現代教育行政研究会代表、  
文部科学省 前事務次官）



プロフィール

1955年 奈良県生まれ。1963年に東京の小学校に転校し、不登校になる。中学・高校時代に学園紛争を経験（本人はノンポリ）。大学では仏教青年会に所属。1979年文部省に入省。大臣官房や初等中等教育局を長く経験。宮城県教育委員会や日本政府ユネスコ代表部への出向経験もある。2016年6月に文部科学事務次官になったが、違法再就職斡旋問題の責任をとって2017年1月に退官。加計学園問題では、参考人として国会に招致され証言した。現在、現代教育行政研究会代表、日本大学文理学部非常勤講師。福島市と厚木市で自主夜間中学のスタッフも務める。東京新聞「本音のコラム」に毎週日曜寄稿。著書に『面従腹背』毎日新聞出版、『同調圧力』（共著）角川新書など。

みなさんこんにちは。新型コロナウイルス感染症は、今年世界中で猛威を振るい、私たちの生活にも甚大な影響を与えています。半分は天災。でもあと半分は人災だと私は考えています。去年まで誰も知らなかった新型コロナウイルス。でもこの数か月で私たちは多くのことを知りました。もともと未知のものだったわけですから、第一線の科学者・専門家の知見と私たち一般人の知見の間には、実は大きな差はありません。いわんや、政治家と私たちの間に、その知識や判断力において全く差はないと言うべきでしょう。にわかにかきた九月入学移行論についても同じことが言えます。新型コロナウイルスの脅威に立ち向かうためには、誰か（内閣総理大臣とか）の判断に任せるのではなく、自分たちで学び、考え、判断することが大事です。今ここで、パンデミックの中の自分たちを考えることは、とても大事なことだと思います。

日時：2020年6月7日（日） 15:30～

場所：みなさんの自宅

申込先：<http://earthwalkers.jp/> で申し込み！



QRコードから申込